

平成29年春の火災予防運動を実施します！！

～住宅火災の発生防止を呼びかける各種イベントを開催します！～

3月1日（水）から7日（火）までの7日間、全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。

横浜市では、住宅防火対策を重点テーマとして、住宅火災のリスク軽減に効果がある住宅用火災警報器のさらなる設置普及と、設置義務化から10年を迎えすでに設置されている住宅用火災警報器の点検や取り替えの呼びかけを行うとともに、過去10年住宅火災の原因の1位であるこんろ火災の出火防止対策の推進について呼びかけます。

1 期間中に実施する主な取組

- (1) 住宅用火災警報器の設置と維持管理の促進
- (2) こんろ火災防止対策の推進
- (3) 電気器具、配線による出火防止対策
- (4) 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- (5) 平成29年春の火災予防運動期間中の主な行事は、別紙のとおりです。

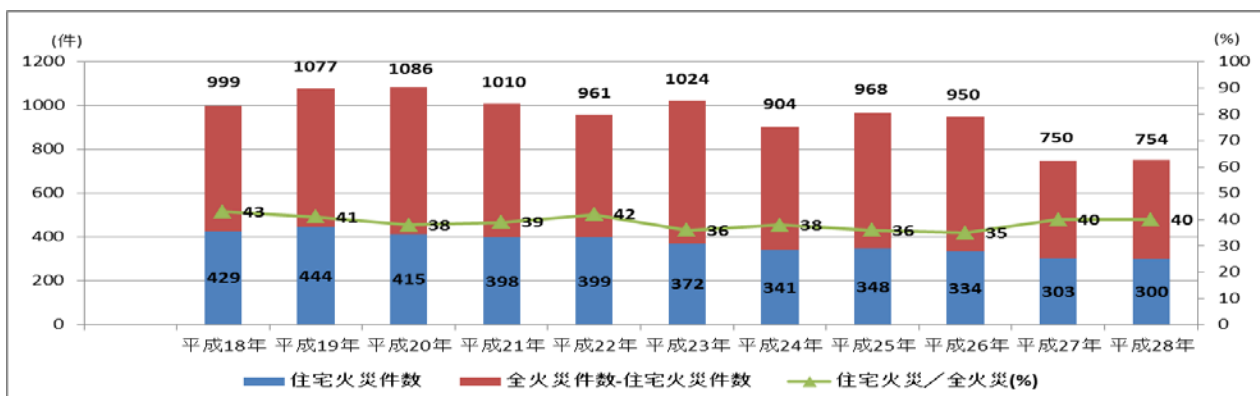
※各区において、駅頭や集客施設等で各種イベントを実施するほか、地域や事業所で消防訓練を実施します。

2 取材について

- (1) 行事等の詳細については、各消防署へお問い合わせください。【別添資料参照】
- (2) 災害の発生や荒天等により、行事を延期し、又は中止することがありますので、あらかじめ御了承ください。

3 参考情報（住宅火災の状況）

図1 全火災・住宅火災の推移(件)

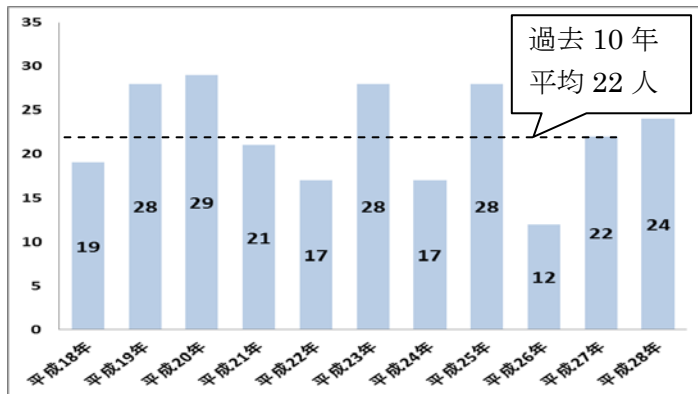


平成27・28年と火災件数は減少しているものの、全火災に対する住宅火災の割合は過去10年間の平均39%より1ポイント高くなっています。

出火原因	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
こんろ	129	113	102	98	87	79	68	87	75	81
たばこ	77	56	71	63	71	73	52	52	48	52
放火(疑いを含む)	70	57	64	62	48	51	59	49	32	24
ストーブ	17	29	22	23	33	23	23	29	25	20
配線器具	15	13	11	22	15	13	18	14	17	17
灯火	15	18	19	14	8	7	10	12	12	9
電灯・電話等の配線	13	9	8	11	9	8	5	5	6	4
電気機器	10	8	7	4	11	11	11	9	11	9
その他	98	112	94	102	90	76	102	77	77	84
総計	444	415	398	399	372	341	348	334	303	300

住宅火災の原因は、10年間こんろによる火災が1位となっています。

図2 住宅火災による死者(放火自殺者を除く)の推移(人)



平成28年中の放火自殺者を除く住宅火災による死者は、過去10年の平均22人より2人増となっています

表2 横浜市の住宅用火災警報器設置率

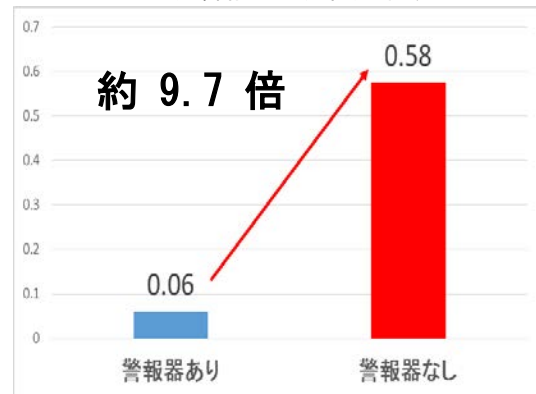
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
住宅用火災警報器設置率(%)	74.2	78.0	83.5	86.7	82.4
	市民意識調査	市民意識調査	街頭アンケート	訪問調査(消防庁指定方法)	訪問調査(消防庁指定方法)

図3 平成28年の市内住宅1万戸当たりの出火率と住宅火災警報器の効果(火災件数/住宅1万戸)



市内住宅1万戸当たりの住宅火災の出火率は、警報器がない場合は約8.7倍のリスクがあります。

図4 平成28年の市内住宅1万戸当たりの死者数と住宅火災警報器の効果(死者数/住宅1万戸)



市内住宅1万戸当たりの住宅火災の死者数は、警報器がない場合は約9.7倍のリスクがあります。

※平成28年の件数は全て速報値

お問合せ先		
消防局予防課長	秋元 雅彦	Tel 045-334-6601